

様式 2

県立高等学校重点校制度に係る成果報告書

学校名 米子南高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	令和3年5月10日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標 (令和2年度)			
大胆な挑戦 (Dare Greatly)			
1 学ぶ意欲を育てる = 「主体性を育てる」「やる気を引き出す」 → 授業改革			
2 成長を支える = 「人と出会い、新たなことへの挑戦を促す」 → 場の設定・声かけ			
3 変化を求める = 「現状に満足しない」「変化を恐れない」 → 現状を見つめる			
2 重点項目に係る目標・成果			
目標		成果	
1 基礎学力の向上			
2 基本的な生活習慣の確立			
3 職業観、勤労観の醸成			
4 進路目標の自己決定と達成・職業資格の取得			
5 地域社会への貢献			
<数値目標>		<数値結果>	
・就職内定率 令和2年度目標		・就職内定率 令和2年度実績	
10月末 95%以上		10月末 75%	
2月末 100%		2月末 100%	
・商業科各種検定・・・特記のない検定は、 全国商業高等学校協会主催		・商業科各種検定・・・特記のない検定は、 全国商業高等学校協会主催	
(受験者数に対する合格率) 目標の合格率		(受験者数に対する合格率)	
1年生 R2目標		1年生 R2実績	
簿記実務検定2級 75%以上		簿記実務検定2級 30%	
情報処理検定2級(ビジネス情報部門) 90%以上		情報処理検定2級(ビジネス情報部門) 61%	
商業経済検定3級 90%以上		商業経済検定3級 88%	
ビジネス文書検定3級以上(含科目) 95%以上		ビジネス文書検定3級以上(含科目) 83%	
2・3年生		2・3年生	
<全体> ビジネス文書検定2級(含科目) 80%以上		<全体> ビジネス文書検定2級(含科目) 69%	
ビジネス文書検定1級(含科目) 60%以上		ビジネス文書検定1級(含科目) 50%	
<分野別>		<分野別>	
マーケティング分野 商業経済検定2級 90%以上		マーケティング分野 商業経済検定2級 78%	
商業経済検定1級 70%以上		商業経済検定1級 57%	
日商・販売士3級 70%以上		日商・販売士3級 -	
会計分野 簿記実務検定1級(含科目) 70%以上		会計分野 簿記実務検定1級(含科目) 31%	
日商・簿記2級 10%以上		日商・簿記2級 29%	
情報ビジュ初分野 情報処理検定1級 (ビジネス情報部門) 70%以上		情報ビジュ初分野 情報処理検定1級 (ビジネス情報部門) 16%	
情報システム分野 情報処理検定1級 (プログラミング部門) 70%以上		情報システム分野 情報処理検定1級 (プログラミング部門) 60%	
経産省・ITパスポート 50%以上		経産省・ITパスポート -	

経産省・基本情報技術者 50%以上	経産省・基本情報技術者 0%
・家庭科各種検定・・・特記のない検定は、 全国高等学校家庭科教育振興会主催 (受験者数に対する合格率)	・家庭科各種検定・・・特記のない検定は、 全国高等学校家庭科教育振興会主催 (受験者数に対する合格率)
目標の合格率	合格率
2年生 令和2年度目標	2年生 令和2年度実績
被服製作技術検定(和服)1級 70%以上	被服製作技術検定(和服)1級 75%
3年生	3年生
被服製作技術検定(洋服)1級 90%以上	被服製作技術検定(洋服)1級 100%
食物調理技術検定1級 80%以上	食物調理技術検定1級 75%
保育技術検定2級4種目 -	保育技術検定2級4種目 75%
同上 1級4種目 -	同上 1級4種目 50%
調理師免許(厚労省) 100%	調理師免許(厚労省) 100%
技術考査 100%	技術考査 100%
全商・ビジネス文書実務検定3級以上 80%以上	全商・ビジネス文書実務検定3級以上 97%
技術顕彰(検定等上位級2種目以上) 70%以上	技術顕彰(検定等上位級2種目以上) 63%

3 実施事業

【高等学校課事業】

○外部人材活用事業

〔商業科〕

接遇実習(社会人・社員としての基本マナー、接客の心構え、苦情の対処法、接客の実践)

流通活動の現状(小売業者の役割、小売業者のビジネス、今後の小売業)

〔家庭科〕

テーブルコーディネート講習(テーブルコーディネートの基礎知識の講義・演習)

ピンワーク講習(ピンワークに関する講義・実習)

調理師業務について(調理師の仕事内容、調理師や社会人としての心構えについての講義)

食文化講習(外国の食文化・講義及び実習)

日常生活とビジネスマナー(ビジネスシーンにおける接客接遇の講義・実習)

製菓技術(生菓子、焼き菓子の講義及び実習)

○ふるさとキャリア教育充実事業キャリア塾

地元企業の人事担当者を招き、社会に求められる企業像や企業に求められる人材像等についての講演

企業の新人研修等の担当者を招き、あいさつの基本・社会での礼儀作法等についての講話と演習

身だしなみの原則、新社会人、新入生としての適切な服装、スーツの着こなしの講義と演習

本校卒業生の学生や社会人による講演会

【学校独自事業】

1 授業改革

①ICT活用による学力向上(各自のタブレット端末を利用したeラーニングを導入することによる、生徒の家庭学習の推進と学習習慣の定着)

2 人間力向上事業

②地域との交流を通じた人材育成(米南みつばち学習発表会、調理コース成果発表、中心市街地の活性化、幼児とのふれあい交流)

③環境学習推進プロジェクト(環境教育講演会、中海アダプトプログラム)

3 スペシャリスト養成事業

④食の安全専門研修（食品製造工場見学、大学研究機関での講義実験）

⑤コンテンツ産業を支える人材育成事業（外部講師からの講義・演習、企業のポスター広告やホームページの作成）

4 キャリア教育支援事業

⑥進路指導の充実（職業理解ガイダンス（1年生）、学校・企業見学会（1年生）、小論文講座（2年生）、進路講演会（2年生）、小論文講演会（3年生）、就職先開拓・卒業生のフォローアップ）

⑦インターンシップ・資格取得の推進（職場体験（インターンシップ）、職場見学、資格取得のための学習会）

5 グローカル人材育成推進事業

⑧米南地域おこしプロジェクト（地元食材等を活かした商品開発、地元開催イベントでの販売実習）

4 総合所見（成果・評価）

○主に専門学科の資格取得に重点を置き、事業を実施した。平成30年度、令和元年度の検定合格の実績から目標値を設定したが、特に商業学科に関わる検定において検定問題の出題が知識だけでなく、思考を問う出題傾向となったこと、新型コロナウイルス感染症に関連して検定自体が実施されないなどで、目標値と実績に大きな差が出た。家庭学科では、個別指導時間の確保が難しい中、担当教員が指導し概ね目標値に近い結果を残した。両学科とも指導体制等を改善するなど検定への対応をしていきたい。

○授業での学びを測る方法として、また進路意識の動機付けとして検定がある。授業での検定指導をうまく利用して、生徒への学習への関心をより引き出し「主体的・対話的で深い学び」につなげられるよう、工夫していくことが実績をあげると考える。

○学校独自事業等によって本校専門学科の特色を活かした活動ができ、スペシャリストの意識付けや地域貢献活動、国際的な視点が広がってきていることは学習成果の発表会などを通じて感じる。今後も地域を教材にした事業を利用して、より専門学科の特色を打ち出したい。